

能登少年自然の家の平成30年度管理状況

様式2

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
施設管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 伊藤 信一
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
中期経営目標 (H29～R3)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数を5年間で2%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	<p>職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体アンケートの実施 <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば打ち体験（25人参加） <p>体験活動プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋チャレンジプログラムの実施（2回／89人参加） ・子ども自然学校の開催 16プログラム（494人参加）
② 広報活動	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に新しい情報を提供できるようホームページの充実 ・主催事業広報用リーフレットの作成・配付 ・近隣の小中学校をはじめ、企業や公民館等を訪問するなど施設利用をPR ・新聞等マスコミ関係へイベント情報を提供

(2) 令和元年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、近隣の学校や公民館などに施設利用のPRを行っているが、広報の範囲を奥能登地区全般に拡大して実施する。 ・ リピーター獲得のため、きもだめしやオリエンテーリングのコースを再整備する。 ・ 雨天時のプログラムの開発を行い、利用者の利便性の向上を図る。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H27年度 (基準値)	H29年度	H30年度	前年度比	基準値比	R3年度 (目標値)	
(1) 利用者数 (人)	22,129人	22,883人	21,309人	93.1%	96.3%	22,600人	
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	100.0	100.0	100.0	0.0 ^{※1}	0.0 ^{※1}	95.0	
施設の維持管理 (%)	100.0	100.0	95.5	-4.5 ^{※1}	-4.5 ^{※1}	95.0	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	猛暑や台風の影響により、予約のキャンセルや主催事業の中止が相次いだため減となった。	同 左

<利用者アンケート結果 (通年実施 有効回答数64件) >

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	77.3	22.7	0.0	0.0
施設の維持管理 (%)	50.7	44.8	4.5	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃：毎日1～2回 ・ 特別清掃（床ワックスがけ）：年1回
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気設備：年6回 ・ 消防用設備：年2回 ・ 簡易水道検査：年1回 ・ 貯水槽清掃：年1回 ・ 鼠、昆虫等の防除（年1回） ・ 合併処理施設 点検（維持管理）月4回×12ヶ月
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈り 適宜
(4) 警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設全体の警備（常駐、夜間警備（宿泊者がいる場合）、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源修繕・大型バス車検整備・大型カー全塗装など

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡網、危機管理マニュアル、消防計画等の見直し・作成 ・ 避難訓練の実施 年2回
(2) 個人情報の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
能登少年自然の家	149	0	
合計	149	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
食事料	18,961		
寝具料	1,462		
暖房・カー利用料等	385		
合計	20,808	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	33,733	人件費	30,061
利用料収入	20,808	光熱水費	5,103
その他	2,810	修繕費	2,065
		その他	24,401
合 計 ①	57,351	合 計 ②	61,630
収支差額 ①-②	-4,279		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
	該当なし	

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	該当なし	

8 その他報告事項など

特になし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の活動プログラムの改善や活動場所の整備を実施している。 ・ 近隣の学校、公民館、スポーツ少年団等を訪問し、施設PRに努めるとともに、ホームページの充実を図るなど積極的に情報発信を行っている。 ・ 利用者サービスの満足度は高い水準を維持している。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全性を考慮し、施設の修繕等に積極的に対応している。 ・ 施設内は常に清潔に保たれており、利用者の要望に対応するなど適切な管理がなされている。また、館内の展示を工夫し、利用者の学習環境作りに努めている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。 ・ 非常時の緊急連絡網、消防計画、海洋活動に係る安全規程等が定められ、安全対策が適切である。 ・ 天候悪化による活動内容の変更にも柔軟に対応できるよう周辺施設との連携できている。 ・ 高校生ボランティアを積極的に受け入れ、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。 ・ 個人情報保護や宿直業務など、仕様書等に基づき、適切な管理運営がなされている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、施設利用のPRや利用者満足度の高いサービスの提供に積極的に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--